

**令和7年度 第1回川崎市社会教育委員会
有馬・野川生涯学習支援施設専門部会会議録（要旨）**

日 時 令和7年7月17日(木) 14:00～16:00
会 場 有馬・野川生涯学習支援施設 2階 グループ室
出席者 部会長 小倉 敬子（公益財団法人かわさき市民活動センター 理事）
委 員 生駒 みを（菅生中学校区地域教育会議 副議長）
吾妻 典子（川崎市立有馬小学校 校長）
津田 知充（宮前第一地区社会福祉協議会 会長）
鴨志田 由美（市民委員）
山本 啓子（市民委員）

指定管理者 石渡館長（アクティオ株式会社）三枝（アクティオ株式会社）
事務局 宮前区役所生涯学習支援課（宮前市民館）石川課長（館長）、下間係長
欠席者 委 員 竹内 和則（川崎市立有馬中学校 校長）
森 敬起（西野川町内会 会長）

会議の成立 （委員8名中6名出席）

会議の公開・傍聴人 なし

次 第

- 1 あいさつ（宮前市民館館長）
- 2 委嘱状伝達
- 3 委員・職員紹介
- 4 資料確認等
- 5 報告事項
 - （1）令和6年度管理運営業務報告について
 - （2）令和6年度利用実績・事業・収支報告について
 - （3）令和7年度事業計画について
 - （4）その他
 - ア 次回の開催日程について

配布資料

- 資料1 令和7年度第1回川崎市有馬・野川生涯学習支援施設専門部会資料
（その他）
- ・アリーノニュース 7月号
 - ・夏・としょだより
 - ・アリーノ子育てサロン
 - ・令和6年度活動報告書（教育文化会館・市民館）（委員のみ配布）

開 会

- 1 あいさつ（宮前市民館館長）
- 2 委嘱状伝達
- 3 委員及び職員紹介
- 4 資料確認等

議 事

（1）令和6年度管理運営業務報告について

石渡館長が資料1－①を用いて説明。

（質疑応答）

小倉部会長

空調関係の点検が入っているが、施設も年数を経過しているが機材等交換はしているのか。それとも開設当初のままか。

石渡館長

当初のままである。

小倉部会長

当初のままの機材でメンテナンスだけで対応できるのか。

石渡館長

夏場等、厳しい状況もありますが、その都度スポットで対応している状態

小倉部会長

今後、行政にどのようなタイミングで話をしていくのか。

下間係長

7月に教育委員会生涯学習推進課が巡回を行うので、その際に年数も経っているので相談したいと考えている。

小倉部会長

行政に現状を伝えながら、予算に入れてもらえるよう早めにアピールしておいた方がよいと思う。

（2）令和6年度利用実績・事業・収支報告について

石渡館長が資料1－②～⑥を用いて説明。

（質疑応答）

津田委員

うえるかむクラスのことについてももう少し詳しく知りたい。

石渡館長

うえるかむクラスは年に一度、集会室で開催されている。

石川市民館長

これは宮前区の子育て支援関連部署が中心となって市民館や営生分館、アリーノ（有

馬・野川生涯学習支援施設）を会場にして運営している事業である。

津田委員

先程、引っ越しをしてきた方に参加をしてもらおうと聞いたが、その方たちの情報は区役所から繋いでもらっているのか。

石川館長

こちらから声をかけるものではなく、広報等を見て来てもらう。

津田委員

来てもらうための活動をしているのか。

石川館長

市政だよりやチラシ、HP 等でお知らせしている。

津田委員

開催は年 1 回でよいと判断されたのか。

石川館長

アリーノの主催事業ではない。春先に宮前市民館、菅生分館、アリーノの 3 か所で開催している。

津田委員

このクラスは、市民館はじめ、各施設の活動を理解してもらうというものなのか。

石川館長

そうではなく、あくまでも子育て支援としての活動事業であり、子育てをしていく上での心配事や相談ができる場所、サークルの紹介などを行っている。

小倉部会長

中原区では大人向けのうえるかむクラスも実施しているが宮前区ではやっているのか。

石川館長

宮前区主催ではないと思われる。

小倉部会長

各回、どのくらいの参加人数がいるのか。

石渡館長

各回だいたい 50 名くらい

小倉部会長

その際に事業のチラシ等は配布しているのか。

石渡館長

施設や事業を知ってもらうために全てのチラシを配布している。

鴨志田委員

うえるかむクラスを通じて得た情報をもとに子育てサークルに参加している方も見られる。よい流れができていると思う。

生駒委員

アリーノこども食堂について費用や食材の調達はどのようにしているのか。また、こども食堂の中でどのような交流がされているのか。

石渡館長

食材の調達について、野菜に関しては地域の農園から商品として使えないものを前日に伺い、調理担当に伝えメニューを考える。その他、地域の御支援をいただける事業者の方がいる。足らない材料に関してはスーパー等で購入したものをアリーノとして提供している。一食大人300円、こども200円で提供し、だいたい35人の参加があり9,000円前後の収入となっている。足りなく購入したものの金額は収入から支出している。

交流に関しては参加者を4グループに分け、同世代、高齢者、親子連れで同席になるように配置している。飽きてしまった子ども達のために空室にホワイトボードを置き、お絵かきができるように用意してある。それにより子ども同士の繋がりができている。

生駒委員

とても良い関係ができていると思う。

協力してくださっている方々や企業にはどのように働きかけたのか。

石渡館長

2017年から事業を始めて以降、担当者から情報をもらい、アプローチをして館長が引き継いでいる。作ったメニューの写真を付けて報告をしている。また利用者向けに配布しているメニューに、協力していただいている方の写真をつけて配布している。

小倉部会長

その協力者の方の紹介等は、参加した方にしか配布していないのか。

石渡館長

参加者の方とボランティアの方に配布している。

小倉部会長

こども食堂を応援してくれている協力者の方々をアリーノの応援団としてアリーノニュースに掲載してはどうか。地域の方のサポートで成り立っているのはアリーノに特化したものである。

石渡館長

宮前区内でこども食堂を開催している方々でグループを作り食材等の情報交換をし始めた。こども食堂の広報活動も出来つつある。

生駒委員

実際にこども食堂がどういうものなのか、そこでの活動はどういったものなのかということがわかりづらい。そういったところをアリーノニュースで紹介してはどうか。

石渡館長

宮前区の市政だよりに掲載している。

小倉部会長

市民活動センターが食材収集の中間点になることもあるが、運搬ルートがないのが問題となっている。

鴨志田委員

フードバンクもあるが利用しているのか。

小倉部会長

賞味期限間近ものもあり、こども食堂では利用していないと思われる。

アリーノこども食堂は恵まれているので地域への感謝も含めて、1年に1回アピールも兼ねてアリーノニュースに掲載してはどうか。

山本委員

現在のこども食堂は地域の方や参加者同士の交流もあり、良い環境で行われている。

こども食堂がスタートするとなった時に思っていたものとは違う。本当に食を必要としている子どもたちが利用できているのかと思うこともある。

小倉部会長

地域によって差はあるが民生委員などが声をかけている。アプローチしてくれる人がいるかいなか。

山本委員

実際に必要な子どもたちに情報が届いているのだろうか。

小倉部会長

スタートはそういった子どもたちに向けたものだったが、そこにアプローチできているところとできてないところがある。子どもだけでなく、高齢者に向けたものになってきた。こども食堂は行政が行っているわけではないので、運営者がどのように考えるかによって変わってくる。あえてこども食堂という名前を使わないところもある。

山本委員

こども食堂の存在を知らせることが大切。ニーズからのスタートではなく、そのような場所があるというのを広報していきたい。

生駒委員

気軽に来られる場所になるとよい。

小倉部会長

学習支援事業に参加されている方にこども食堂の紹介もしている。

鴨志田委員

ボランティアの方について、どのくらいの時間参加しているのか。

石渡館長

いくつかのグループに分かれて担当ごとに7～8人ぐらいで、交代で動いている。

鴨志田委員

ボランティアの募集に苦勞していないか。

石渡館長

困っていない。仲間同士紹介で参加された方もいるし、直接施設に問い合わせをして来られた方もいる。

小倉部会長

公共施設が開催しているという安心感があり、アプローチしやすいのではないかな。
とても良い事業だと思う。協力してくださる方に感謝し、お互いに顔が見える関係で事業を行っていけるのはよいと思う。

小倉部会長

野川小学校でのアウトリーチ企画はいつ行われたのか。

石渡館長

2月に行った。

小倉部会長

寒い時期に体育館で行ったがどうだったか。

石渡館長

ヒーターを2台借りた。天候も良く日差しもあり問題はなかった。

小倉部会長

学校として、なにかあるか。

吾妻委員

活動報告を聞いて、子どもたちがよく利用しているのが分かった。町探検でも協力していただき、施設の良さが分かった。施設の認知度というのはどのくらいあるのか。
地域柄、働いている保護者も多いので、地域ぐるみで子育てをしていけたら学校として心強く、ありがたい。

石渡館長が資料1－⑦～⑨を用いて説明。

(質疑応答)

小倉部会長

市民活動利用者連絡会について、総会で役員の交代があったが、どのような感じか。

鴨志田委員

コロナ禍を経てまた活動が再開され、市民活動がどのように定着していくかを見てきたが、若い方に入っていただき世代交代を考えていたが少し難しかった。

石渡館長

自分たちがどのように携わっていけばよいかというのが分かりづらかったのも、そういった方々が参加しやすい会にしていければと考えている。

小倉部会長

今後は役員の任期を設けるなど基本的な運営のシステムを考えていかななくてはならないのではないか。

(4) その他（次回の開催日程について）

第2回専門部会は、11月6日（木）午後2時から開催することになった。